

かわにし **新**時代へ



令和6(2024)年3月  
川西市 土木部 公園緑地課

# 川西市 みどりの基本計画 - 概要版 -

令和6(2024)年3月

## みどりの基本計画の概要

みどりの基本計画は、都市緑地法に規定された、市が市域における緑地の適正な保全と緑化の推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するため、みどりの将来像とその実現のための施策などを定めたみどりに関する総合的な計画です。

本計画の期間：令和 6(2024)年 4 月～令和 22(2040)年 3 月

※中間年度は 8 年後（令和 14(2032)年 3 月）

## 対象とするみどり

みどりとは・・・

本計画の対象とする「みどり」は、樹木や草花などの植物そのもの、および植物を含む土地や空間（樹林地、草地）、またこれらと一体となった水辺やオープンスペースなどを指します。

公有地・民有地を問わないほか、自然環境として植栽を形成している土地に加え、屋上や壁面などの施設に関連する緑被面を含めて対象とします。

【みどりの定義】

みどり	樹木・草花などの植物そのもの	
	緑被地	樹木・樹林地 樹木や樹林で覆われた土地、街路樹
		草地 草や芝生で覆われた土地
		農地 水田、畑、果樹園
	水面	河川、水路、ため池などの水域
	裸地	学校グラウンド、グラウンド (草が生えていない土壌面)
緑被面	施設の屋上や壁面等において、 草等で覆われた部分	



【本計画で対象となるみどり】

緑地とは・・・

「みどり」のうち、担保性がある（将来にわたってみどりが残される可能性が高い）と判断できるものを「緑地」とし、さらに「緑地」は、施設緑地と地域制緑地に分類されます。

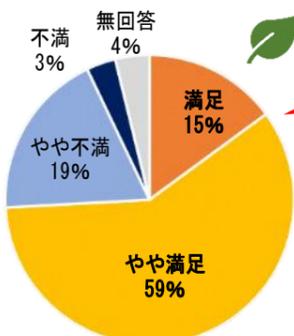
施設緑地は、都市公園あるいは公園のような形態のオープンスペースで、地域制緑地は、法律や条例などにより、市や県、国が土地利用を規制・誘導することでみどりが保全される緑地です。いずれも公有地はもとより、民有地を含みます。

## 市民のみどりへの満足度

市民意向調査

(令和 4(2022)年 8 月～9 月に実施)

対象：無作為抽出した 16 歳以上市民 1500 人  
回収：37% (552 件(有効回答数 549))



満足+やや満足  
74%

市民意向調査によると、市全域および各地域とも、みどりに対して高い満足度を抱えています。

問・川西市のみどりに満足していますか。

## 西市のみどりの現況

市街化調整区域では山林やゴルフ場など大半が緑被地である一方で、市街化区域では緑被地がほとんどみられず、南側の中国自動車道周辺に比較的まとまった生産緑地の田畑や採草牧草地などのみどりを除くと、水面や都市公園、ニュータウン周辺に斜面緑地が点在しているのみです。

【エリア別のみどりの特徴】

北エリアから中北エリアのみどり	「にほんの里 100 選」に選ばれた黒川の里山をはじめ、人々の暮らしと共存する自然や農地のみどりがみられます。
中エリアのみどり	丘陵地の自然のなかに、斜面緑地を周辺に残すニュータウン開発が進められ、地域内には一定の公園や道路沿いに計画的なみどりが確保されています。
南エリアのみどり	小規模な開発が進められたため、公園や街路樹などまちなかのみどりはあまり多いとは言えない状況となっています。

## 《施設緑地の現状》

- ・令和 4(2022)年 1 月 31 日現在、都市公園は 276 箇所、124.38ha となっています(県立公園 2 箇所を含む)。
- ・このほか、ニュータウン周辺緑地 126.2ha や児童遊園地 29 箇所、1.96ha をはじめ、公共や民間によるグラウンドやキャンプ場、ゴルフ場などの施設緑地もみられます。

【都市公園の整備状況(令和 4(2022)年 1 月 31 日現在)】

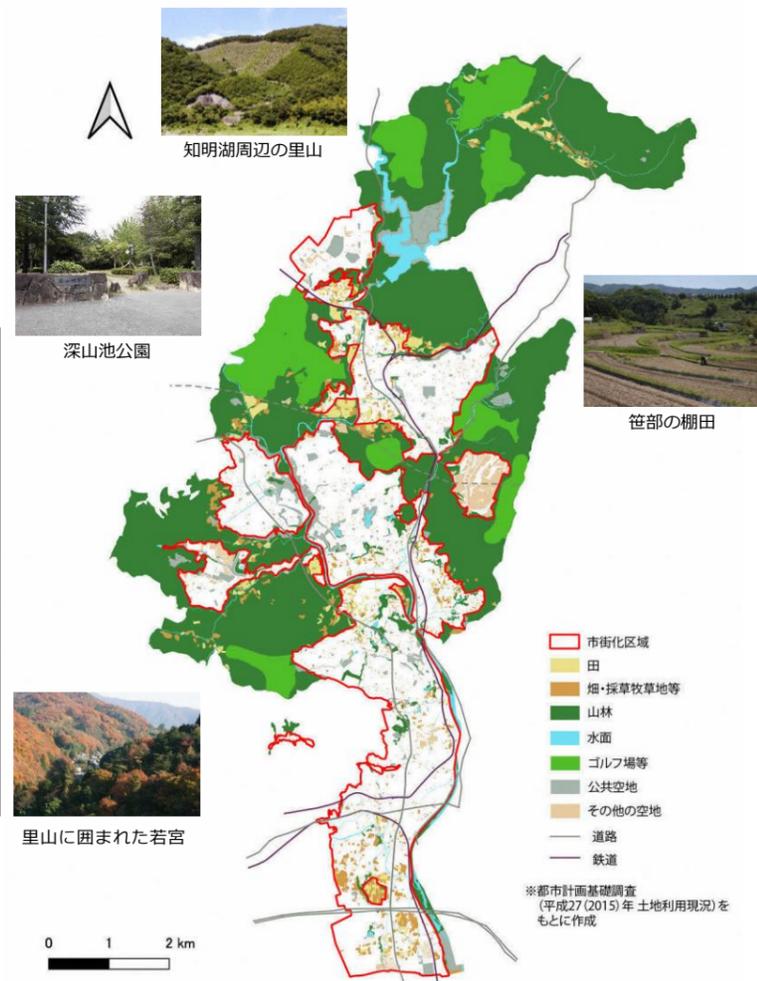
公園種別	箇所数	面積 m <sup>2</sup>	備考	
住区基幹公園	街区公園	246	347,639	
	近隣公園	9	189,693	清和台中央公園、平木谷池公園、水明台第 5 公園、けやき坂中央公園、北ひばりが丘公園、湯山台運動公園、ドラゴンランド、ヤマモモ公園、キセラ川西せせらぎ公園
	地区公園	2	106,501	西猪名公園(県立)、深山池公園
都市基幹公園	広域公園	1	482,000	一庫公園(県立)
	総合公園	1	71,807	東久代公園
緩衝緑地等	都市緑地	16	44,965	
	緑道	1	1,200	南山緑道
都市公園計	276	1,243,805	県管理公園含む、日高住宅緑地は含まない	
1 人当たり公園面積		8.0 m <sup>2</sup> /人	令和 4(2022)年 1 月 31 日住民基本台帳人口は、155,693 人	

## 《みどりを支える市民活動》

- ・みどりを支える市民活動としては、公園管理協力報償金による活動、自治会などにおける公園管理が行われているほか、公共空間の緑化を行う G F G(グリーンフア-グループ)が活動していますが、団体数、活動者数とも近年減少傾向にあります。

## 川西市のみどりの課題

1. 本市の特徴である自然緑地の保全
2. まちなかのみどりの整備・再整備
3. みどりの適切な維持管理の推進



【みどりの土地利用の状況】

※都市計画基礎調査(平成 27(2015)年土地利用現況)をもとに作成

# みどりのまちづくりに関する考え方

快適な環境で暮らせる川西市の実現に向けて・・・

## みどりのまちづくりの3つの理念

### 生き生きみどりでまちの魅力づくり

みどりの環境づくりが、まちの活性化やより魅力的なまちづくりにつながるよう、みどりの取組みを進めていく

### 楽しいみどりの仕組みづくり

みどりを利用するだけでなく、市民、事業者、行政がともに育てていくことで愛着あるまちをつくる

### 川西らしいみどりの環境づくり

「川西らしさ※」を担う素材となるよう、従来のみどりを守り、新しいみどりを生み出す

※「川西らしさ」とは、猪名川や段丘崖の緑地、北摂の山並みなどの自然環境と歴史的遺産による景観とニュータウン開発によって整備された美しいまちなみ景観とが一体となって生み出す風景と捉えられる。  
「川西らしいみどり」は、川西市を特徴づけるみどりとして、平野部に市街地が広がるが、周辺には身近に丘陵地や河川のみどりが展開するという構造、里山、棚田、ニュータウン周辺のみどり、社寺境内地のみどりなどを表す。

## みどりの将来像

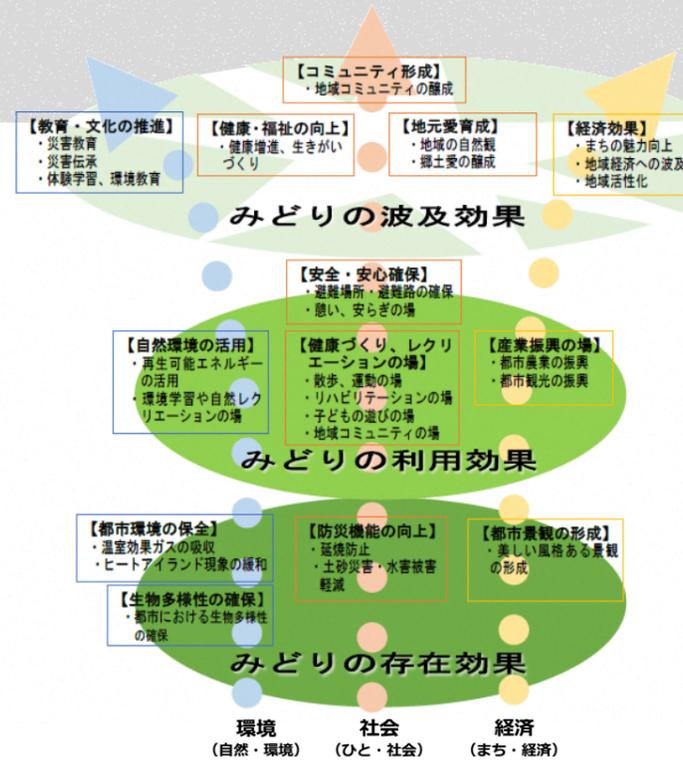
みどりの拠点		本市の代表的な公園に位置づけ、それぞれがみどりのすべての効果（存在、利用、波及効果）を最大限に発揮することを目指す
みどりの軸		本市の自然環境の生命線とも言えるもっとも重要な環境軸(背骨)である猪名川などを位置づけ、主に波及効果を発揮する
みどりのゾーン		本市のみどりの構造を反映し、山系の自然緑地のゾーンと公園緑地・街路樹など施設系のみどりのゾーンに大きく分け、さらにその特徴に応じて区分することで主に存在効果を発揮する



「みどりのゾーン」の目指すべき姿	
文化と歴史が残るふるさとのみどり	里山の歴史と水辺の景観が一体化した川西ならではのふるさとの環境を受け継ぎ、市民の心を和ませ楽しませるため、公民協働による適切な保全・活用を目指す。
まちを取り巻く山のみどり	都市開発から残された市街地背後の山々について、土地所有者との連携を図りながら、都市に近い貴重な自然緑地として適切な保全・活用を目指す。
みどりに包まれたニュータウン	景観に優れた快適なニュータウンとして、地区の魅力さをさらに高める公園および道路、住宅地のみどりづくりを目指す。
身近に花やみどりに触れあえる市街地	みどりの少ない都市部においては、公園や空き地、道路など公有地、民有地を問わず、公民協働で適正な維持管理によるみどりのまちづくりを目指す。

「みどりの軸」の目指すべき姿	
本市を南北に貫く猪名川・一庫大路次川	北エリアの自然地从南エリアの市街地までを貫く猪名川および一庫大路次川は環境軸として、水辺の自然環境を後世に守り継承することを目指す。

「みどりの拠点」の目指すべき姿	
①キセラ川西せせらぎ公園	本市中心部の顔となる公園であり、コミュニティ形成や環境改善のモデル公園として、市民による管理運営により、さらなる魅力の向上を目指す。
②県立一庫公園	湖畔と里山の自然を楽しむ拠点として、周辺レクリエーション施設等も含め、県・民間と一体となって魅力化を目指す。
③県立西猪名公園	市内外から多くの人々が訪れるレクリエーション拠点として、県と一体となって魅力化を目指す。
●ニュータウン内の拠点公園(地区、近隣公園)	ニュータウン全体のイメージアップやコミュニティ活性化の契機を提供する楽しく快適なみどりの拠点の形成を目指す。

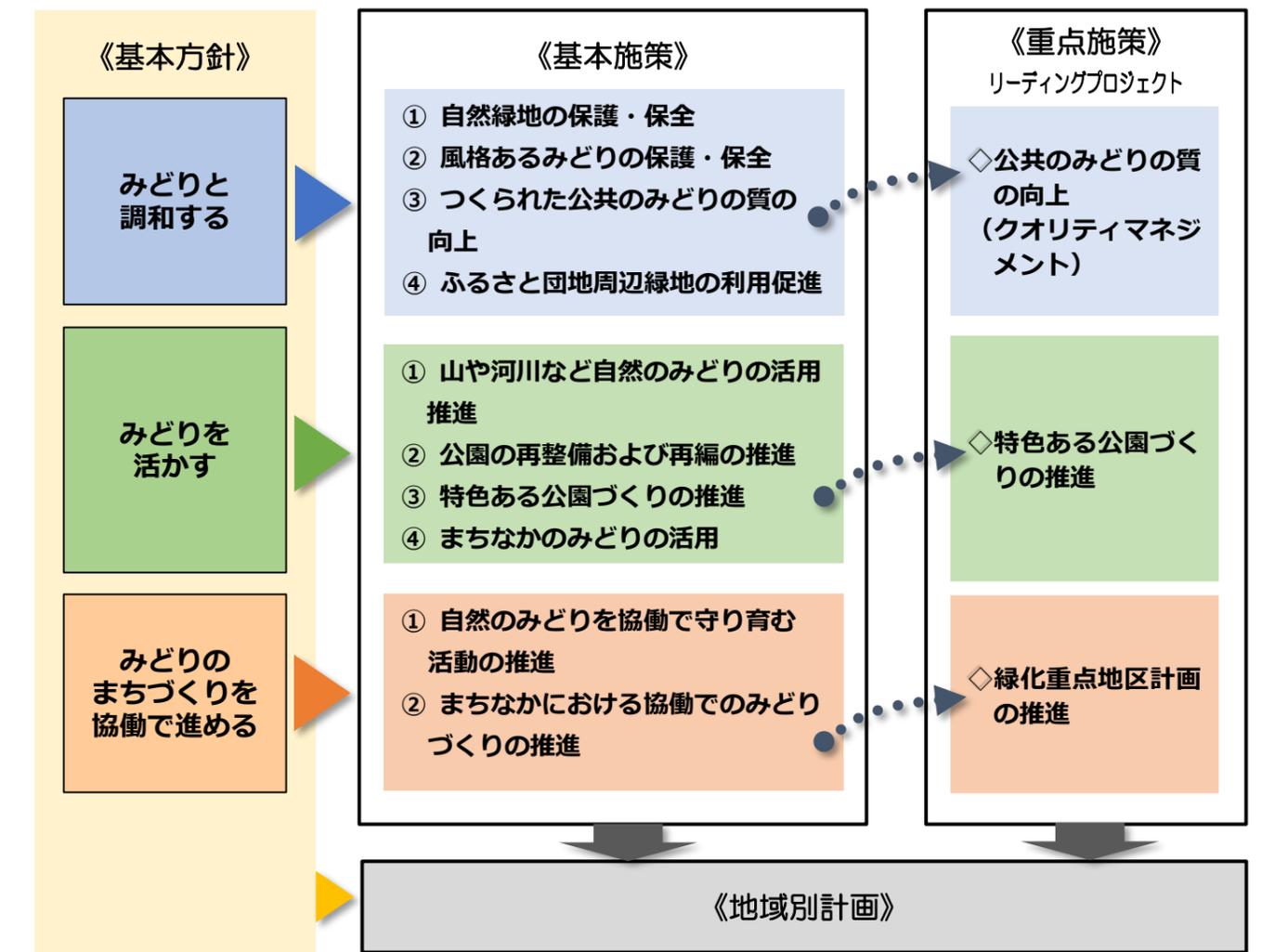


## 期待されるみどりの効果

期待されるみどりの効果としては、みどりが存在することで発揮される「存在効果」、みどりを利用することで生み出される「利用効果」のほか、活用を通じて地域コミュニティの形成やまちの魅力づくりなどその周辺へ波及させる「波及効果」に着目していくことが重視されています。

これらのみどりの発揮する効果について、持続可能な社会の実現に向けて着目される3つの側面(環境、社会、経済)から、左図のとおり整理されます。

## みどりの施策の体系



# 基本施策と主な取り組み内容

## みどりと調和する

みどりの恩恵が市民生活に活かされ、より安全で快適なまちづくりが実現できるよう、特性となるみどりを守り育み、みどりと人が健全に共存できる環境づくりを進める。

### ① 自然緑地の保護・保全

- 山のみどりの保護・保全
- 水辺のみどりの保護・保全
- 生物多様性に配慮した自然緑地の保全
- 農地のみどりの保護・保全
- 自然災害の緩和に資するみどりの保全

【主な取り組み】

- ・北エリア・中エリアの樹林（近畿圏近郊緑地保全区域）の保全
- ・「川西市森林整備計画」に基づく森林の保全と整備
- ・森林ボランティア団体への支援
- ・持続的な農地の保全（農地バンク制度や市民ファーマー制度の活用等）

### ② 風格あるみどりの保護・保全

- 歴史的緑地の保護・保全
- 里山の保護・保全
- 地域のシンボルとなる樹木の保護・保全

- ・歴史的緑地に関する情報発信および保全啓発の推進
- ・保存樹制度の制定（所有者への情報発信および保全啓発、その他支援）
- ・森林レクリエーションおよび自然・環境学習活動の活性化などによる里山環境の保全
- ・「黒川を中心としたまちづくり方針」に基づく里山のみどりの保全推進

### ③ つくられた公共のみどりの質の向上

- 公園・緑地や街路樹の点検・評価
- 公園・緑地や街路樹の維持管理の推進
- 公共公益施設緑化の推進

- ・公園・緑地や街路樹のみどりに関する管理計画の策定および推進
- ・公園施設総量のコントロールの実施
- ・公共公益施設における緑化計画の検討および推進

### ④ ふるさと団地周辺緑地の利用促進

- 団地住民や事業者などによる緑地の活用と管理（都市緑地としての供用）
- 地域が守り育てるみどりのネットワークづくり

- ・ふるさと団地周辺緑地の「都市緑地」としての供用と適切な維持および活用の推進
- ・ふるさと団地におけるみどりの市民活動への支援および育成

## 重点施策

### 公共のみどりの質の向上（クオリティマネジメント）

街路樹：「川西市街路樹維持管理計画※」に基づく計画的な再整備を進め、みどりの質の向上（クオリティマネジメント）を進めます。

公園樹木：公園の規模や利用状況、周辺土地利用などを踏まえ、費用対効果を勘案し、みどりの総量を調整しながら機能維持を図るほか、みどりの質の向上（クオリティマネジメント）に向けた適正な管理を進めます。

※「川西市街路樹維持管理計画」：街路樹の適正な維持管理を行うことでみどりの質の向上を目指すことを目的に、令和5（2023）年5月に策定。

#### 【具体的な取り組み】

##### ●街路樹・公園樹木の持つ機能や役割の「活用」

…猛暑日における木陰の創出や都市の魅力向上など、街路樹や公園樹木の持つ機能や役割の「活用」に向け、現状調査を実施するとともに、それぞれの地区において発揮すべき機能や役割を想定し、樹木の配置や量、樹形を検討します。

##### ●街路樹・公園樹木の持つ機能や役割の「維持」

…街路樹や公園樹木の機能や役割の維持に向け、本市の限られた予算のなかで、将来にわたり適正な維持管理を行っていくため、適正な場所や量に対応する伐採、剪定等、維持管理を進めます。なお、樹木の特性上、機能や効果の発揮までに十分な時間が必要となることから、市民と将来像を共有し、継続性を持って中長期的に取り組めます。



## みどりを活かす

ストックされてきた公園等のみどりをより効果的・効率的に活用できるよう、みどりの対象や役割の特化、集約化、再編などを進めていく。

### ① 山や河川など自然のみどりの活用推進

- 山のみどりの環境学習の場としての活用
- 水辺のみどりの環境学習の場としての活用

【主な取り組み】

- ・環境学習となる場としての環境整備および情報発信
- ・住民活動団体への支援および連携

### ② 公園の再整備および再編の推進

- 長寿命化の視点での公園施設の更新
- 公園のあり方や配置の検討
- 魅力的な公園再整備の推進

- ・「公園施設長寿命化計画」に基づく施設更新
- ・老朽化公園、低未利用公園における現状およびニーズの把握
- ・「都市公園等ストック再編計画」の作成および推進

### ③ 特色ある公園づくりの推進

- 子どもが思い切り遊べる公園づくり
- みんなが見守り楽しむ公園づくりの推進
- 使いやすい公園づくりの推進

- ・「特色ある公園づくり」の取り組みへの支援および推進
- ・公園でしたいことなどを市民が自由に話し合う場づくりへの支援

### ④ まちなかのみどりの活用

- ふるさと団地再生のみどりの活用
- 災害時におけるみどりの活用
- まちなかの農地や緑地の活用とネットワーク化

- ・災害時の緊急避難や救援活動の拠点となる公園・緑地などの機能の拡充
- ・生産緑地の維持および活用（多様な緑地機能の発信（交流、販売等））
- ・「農地バンク制度」や「市民ファーマー制度」の活用

## 重点施策

### 特色ある公園づくりの推進

子どもが自由活発に遊ぶ場所となる公園として、地域のニーズに即した「特色ある公園づくり」を重点的に進めます。

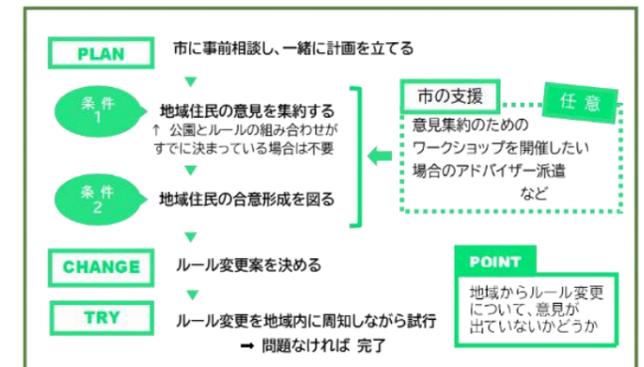
市民が公園のあり方を検討し、使いやすい公園を目指すことで、公園が本市の管理物というイメージから、自分たちの利用する物となることが期待されます。

子どもがいつでも思い切り遊べる公園の実現に向けては、「ボール遊び禁止」など禁止事項や注意事項を中心とした公園利用ルールから、柔軟で使いやすい新たなルールの整備が必要です。ルール整備においては、公園利用者および公園・まちに関心のある地域住民が知恵を出し合いながら交流する、市民と公園をつなぐ場（プラットフォーム）の立ち上げを支援するなど、本市と協働で進めていきます。

#### 【具体的な取り組み】

##### ● 特色ある公園づくりの取り組み支援および推進

公園の自由な利活用に向けた取り組みを進めたい地域を対象に、公園のルールを見直すことを目的として、令和5（2023）年10月より取り組みを開始しました。



《特色ある公園づくりに向けたフローチャート》

# 基本施策と主な取り組み内容

## みどりのまちづくりを協働で進める

多様な事業との連携、多様な主体との協働などにより、まち(地区)全体の豊かなみどりの環境づくりを進める。

### ① 自然のみどりを協働で守り育む活動の推進

- 山林や河川、歴史的みどりの保全と活用に関する市民活動の拡充および支援
- ふるさと団地周辺における協働の管理体制づくり

#### 【主な取り組み】

- ・ ボランティア団体への支援
- ・ 活動者の増加に向けた自然緑地や既存の活動団体に関する情報発信および交流機会の拡充
- ・ ふるさと団地周辺みどりの保全と活用を協働で取り組むためのプラットフォームの整備

### ② まちなかにおける協働のみどりづくりの推進

- 公園を核とした地域の賑わいづくり
- みどりを活かした交流の場づくり
- 多様な主体によるみどりづくり

- ・ 地域が主体的に公園の使い方を検討できる仕組みづくり
- ・ みどりの魅力・活動を発信するシステムの運用
- ・ みどりに関する各種情報提供

## 重点施策

### 緑化重点地区計画の推進

まちの顔となる JR 福知山線、阪急宝塚線の主要駅周辺および新たな賑わいのまちづくりが推進されてきたキセラ川西地区を含む一体となった地区を緑化重点地区として設定し、中心市街地の活性化と連動したみどりのまちづくりを重点的に推進します。



#### 【みどりのまちづくりの基本方針と施策展開】

#### まちの顔にふさわしい質の高い緑化を推進します

- \* 公共施設などにおける景観や見え方に配慮した緑化の推進
- \* 川西市街路樹維持管理計画などに基づく街路樹、公園樹木の見直し、維持管理の推進
- \* 民有地における立体緑化を支援(壁面緑化、ベランダ緑化、屋上緑化に関する情報発信、補助の検討)
- \* 駅前緑化活動の推進
- \* 駅前など重点的に緑化を進める地域では、緑化地域指定などによる緑化を検討

#### 安全・安心に巡り歩けるみどりの回遊ルートの形成を目指します

- \* 阪急川西能勢口駅東側地区～キセラ川西地区(歩道・せせらぎ遊歩道など)
- \* 主要地方道尼崎池田線
- \* 市道 3号
- \* 市道 10号



●	公園・緑地および広場など(名称有は都市公園)
○	緑化を進める公共施設
→	安全・安心に巡り歩けるみどりの回遊ルート
■	鉄道駅

#### 中心市街地活性化に資する多様なオープンスペースを活用します

- \* 都市公園(キセラ川西せせらぎ公園他街区公園)
- \* 広場・ポケットパーク(藤ノ木さんかく広場、ポケットパーク他)
- \* ペDESTリアンデッキ(広場、通路)
- \* 公共施設付帯広場(市役所、体育館など)

# 計画の推進に向けて

## 将来目標指標

総括目標指標として、「市民のみどりへの満足度」を設定するほか、総括目標の達成につながる指標を基本方針に即し、個別指標を検討します。

各指標の目標年度は、計画期間の中間年度である令和 13(2031)年度に設定します。

基本方針	指標	現状 令和 4(2022)年度	目標年度 令和 13(2031)年度
みどりと調和する	緑地面積 (都市公園、ニュータウン周辺緑地、児童遊園地、近郊緑地、自然公園区域、生産緑地地区(重複を除く))	1852.2ha (令和 4(2022)年 10月)	現状値以上
	公園・緑地を活用した環境学習の実施回数	29回	現状値以上
みどりを活かす	市内公園での使用許可件数	615件	738件
	公園を満足して利用している市民の割合	15.2%	22.0%
みどりのまちづくりを協働で進める	みどりの活動や魅力を発信した本市 HP のアクセス数	20,000回	25,000回
	みどりに関する活動への参加の意向を示す割合	83%	85%
	みどりの保全を行う市民団体数 (里山、公園、緑地、河川)	126団体	現状値以上

総括目標	市民のみどりの満足度(市全体)	74%	78%
------	-----------------	-----	-----

## 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、市民・市民団体、事業者、行政が、それぞれの役割を認識し、相互に連携しながら取り組んでいきます。



【市民・市民団体、事業者、行政のそれぞれの役割分担と連携】

## 計画の進行管理

本計画で示す施策を着実に推進していくため、計画作成(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(Action)のサイクル(PDCAサイクル)の手法を用い、進行管理を行います。

設定した目標指標などを用い、施策の進捗状況を把握および評価し、令和 13(2031)年度に中間総括、令和 21(2039)年度に計画の総括を行います。なお、中間総括時において、施策の進捗状況や本市のみどりを取り巻く状況などを踏まえ、最終目標年度に向けた新たな目標指標を設定します。

指標達成状況については、市民意向調査を実施するほか、本市ホームページを通じて計画の進捗状況を公表し、広く市民からの意見を募ります。

また、進行管理を行う中で、みどりを取り巻く社会状況や本市の情勢の大きな変化など、施策と現状の乖離が生じた場合には、必要に応じて計画の見直しを行います。



【PDCA サイクルイメージ図】

# 地域別計画の推進

本市の地形構成や都市開発の経緯、現状のみどりの土地利用構成、都市計画マスタープランにおける地域区分などをもとに、3地域（北エリア、中エリア、南エリア）に区分し、地域の概況、みどりの現況と課題および地域のみどりの方向性を示した地域別計画を定めます。

## 《中エリア》

### A. 旧集落・市街地

○目指すべき姿

- まちを取り巻く山のみどり●
- 身近に花やみどりに触れあえる市街地●

○基本施策

	基本方針	中エリア（A. 旧集落・市街地）の主な基本施策
みどりと調和する	① 自然緑地の保護・保全	・農地における適切な環境維持に向けた農業の継続および農地保全の働きかけ。
	② 風格あるみどりの保護・保全	・多田神社などの社寺境内地や歴史ある住宅と一体になったみどりにおける所有者との調整による保護・保全。
	③ つくられた公共のみどりの質の向上	・低未利用となっている公園・緑地の魅力化の検討。小中学校や公民館など公共施設緑化の推進。
みどりを活かす	④ まちなかのみどりの活用	・農業の担い手不足解消に向けた「農地バンク制度」や「市民ファーマー制度」の活用。
みどりのまちづくりを協働で進める	② まちなかにおける協働で守り育てる活動の推進	・みどりを活かした交流の場づくりの推進。
	④ 公共地のほか農地などを含めた総合的な観点からのオープンスペースの活用	・公有地のほか農地などを含めた総合的な観点からのオープンスペースの活用

### B. ふるさと団地一帯

○目指すべき姿

- みどりに包まれたニュータウン●

○基本施策

	基本方針	中エリア（B. ふるさと団地一帯）の主な基本施策
みどりと調和する	① 自然緑地の保護・保全	・市街地背後の斜面緑地における土砂災害の被害緩和に向けた適切な維持管理、保全。
	④ ふるさと団地周辺緑地の利用促進	・ふるさと団地周辺のみどりにおける都市緑地として供用と適切な管理、大和フォレストクラブや溪のサクラを守る会、虫生川周辺の自然を守る会などの既存団体と連携した環境学習の場としての活用。
みどりを活かす	④ まちなかのみどりの活用	・団地再生の一翼を担う「みどりの拠点」としての主要公園の活性化と、地域が主体となって管理運営に取り組む仕組みづくりの推進。
みどりのまちづくりを協働で進める	① 自然のみどりを協働で守り育てる活動の推進	・ふるさと団地内外のみどりにおける地域主体の維持管理の推進。活動団体間の連携による活動を高め合う仕組みづくりの推進。

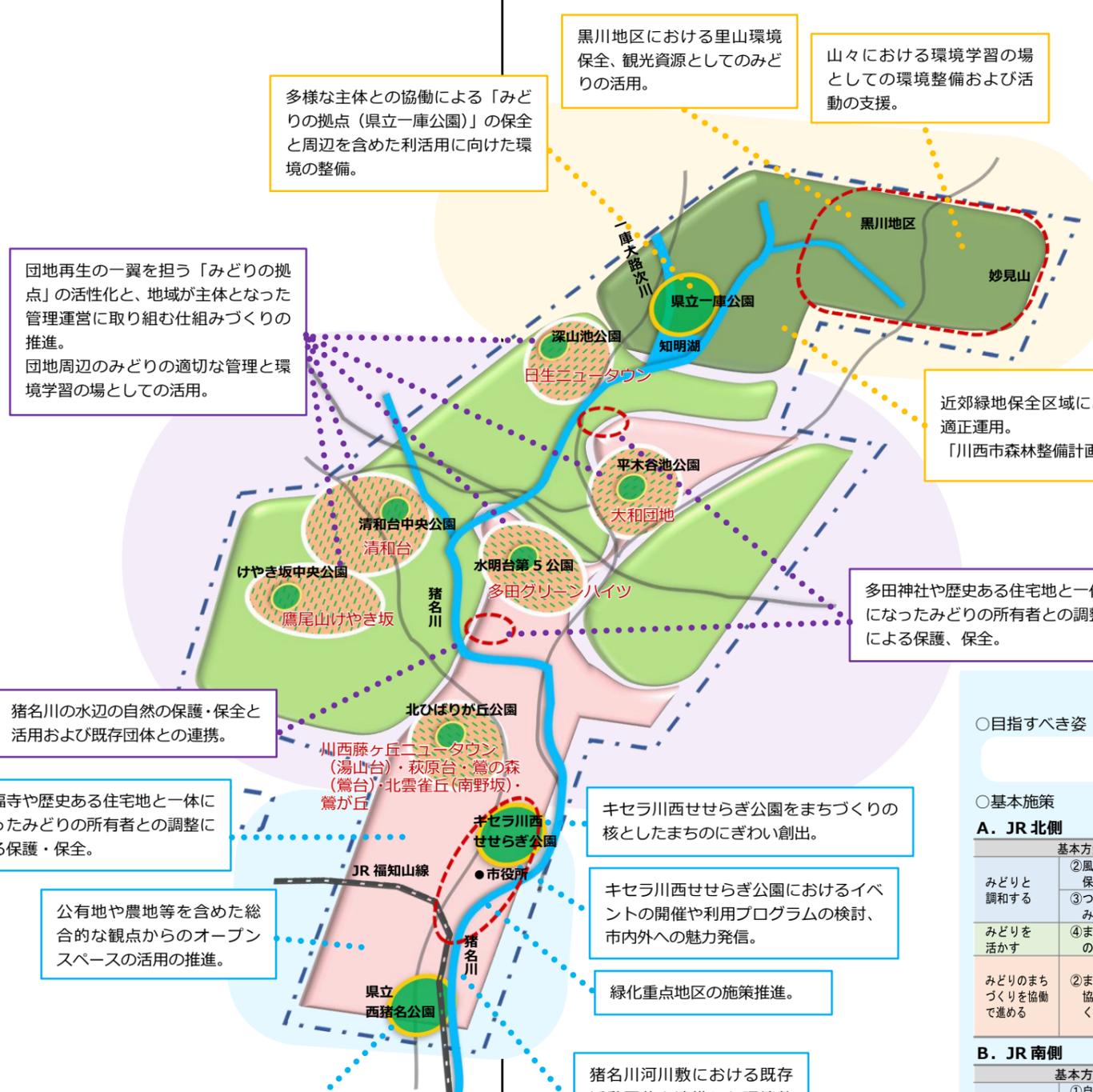
## 《北エリア》

○目指すべき姿

- 文化と歴史が残るふるさとのみどり●

○基本施策

	基本方針	北エリアの主な基本施策
みどりと調和する	① 自然緑地の保護・保全	・「川西市森林整備計画」に基づく健全な森林の保全と育成。
	② 風格あるみどりの保護・保全	・伝統的な地域産業と一体になった里山や棚田の風景を構成するみどりの保護・保全の継続。
みどりを活かす	① 山や河川など自然のみどりの活用推進	・「みどりの拠点」である県立一庫公園について、県、本市、隣接民間施設との連携のもと、湖畔や森林の自然、里山文化など、周辺を含めて楽しめる場として、広場や駐車場などの利用に係る環境を整備。
みどりのまちづくりを協働で進める	① 自然のみどりを協働で守り育てる活動の推進	・市民や事業者など多様な主体との協働によるみどりの保護・保全の推進。



## 《南エリア》

○目指すべき姿

- 身近に花やみどりに触れあえる市街地●

○基本施策

### A. JR 北側

	基本方針	南エリア（A. JR 北側）の主な基本施策
みどりと調和する	② 風格あるみどりの保護・保全	・地域のみどりを特徴づける樹木における保護・保全への支援。
	③ つくられた公共のみどりの質の向上	・小中学校や公民館、病院など公共施設緑化の推進。
	④ まちなかのみどりの活用	・街路樹やポケットパークなどのまちなかの緑地におけるまち全体でのネットワーク化。
みどりのまちづくりを協働で進める	② まちなかにおける協働のみどりづくりの推進	・キセラ川西せせらぎ公園をまちづくりの核として、キセラ川西地区および南エリア JR 北側全体の賑わいを創出。市全体の「みどりの拠点」でもあるキセラ川西せせらぎ公園における、より多くの人が訪れるイベントの開催や利用プログラムの検討、市内外への魅力発信。

### B. JR 南側

	基本方針	南エリア（B. JR 南側）の主な基本施策
みどりと調和する	① 自然緑地の保護・保全	・農業の担い手不足解消に向けた「農地バンク制度」や「市民ファーマー制度」の活用。
	② 風格あるみどりの保護・保全	・地域のみどりを特徴づける樹木について保護・保全への支援。
みどりを活かす	② 公園の再整備および再編の推進	・広域的なスポーツレクリエーションニーズに対応する「みどりの拠点」である県立西猪名公園周辺における、県と連携したスポーツ関連情報の発信、東久代運動公園や猪名川河川敷と一体でのイベントの開催など、魅力あるスポーツゾーンとしての環境整備の推進。
	④ まちなかのみどりの活用	・小規模公園における災害時の避難場所や避難路としての活用。・公有地のほか農地などを含めた総合的な観点からのオープンスペースの活用
みどりのまちづくりを協働で進める	① 自然のみどりを協働で守り育てる活動の推進	・猪名川河川敷におけるゆめほたるネットや流域ネットなどの既存活動団体と連携した環境整備や情報発信の推進。